

アジア・アパレルものづくりネットワーク 初のオンライン展示会 31日からリアル展も開催

初のオンライン展示会

アジア・アパレルものづくりネットワーク

31日からリアル展も開催

アジア・アパレルものづくりネットワーク(AAP)はコロナ禍を考慮し、初のオンライン展示会を開催する。ただし、3月8～12日のオンライン展示会だけでは不十分なため、別日程(3月31日～4月2日)でリアル展示会を東京・千駄ヶ谷のオーダー・オブ・メリット・ブランドニング(OMP)イベントホールで開催する。参加企業は出展9社、協賛企業14社。来場者はオンラインを含め、1000人を見込む。

今回はサステイナブル(持続可能な)とデジタルの融合をテーマに①SDGs(持続可能な開発目標)の取り組み②サステ

イナブル商材の提案③ジェンダーレス④スマートの各コーナーを設ける。

オンライン展示会では出展9社の企業の特徴や工場などを動画を駆使して紹介する。商品サンプルのモデル着用スタイリング写真からワンクリックで単品の詳細も確認できる。協賛企業も①～④のコーナーごとに取り

組みなどが見られる。会員企業(60社)のホームページともリンクしている。

オンライン展は参加企業の詳細を深く理解できるメリットがある反面、ライブでの商談はできないため、一方通行になるデメリットもある。その補完とし

て後日にリアル展示会を開く。

出展企業は、サントイ、小島衣料、ファッションコニシ、片山縫製、OMP、ロックス、湯峰ソーイング、アズマ、高間。協賛企業はサンウエル、葦島刺繍、モリト、レナンミツアキ、大森廻漕店、アベイル、JUKI販売、室谷、東海サーモ、特殊阿部製版所、清川、吉岡、アットスタト、ファッションクロスフルシマ。